



CHARTERED IN  
NOVEMBER 21, 1955

— 主 題 —

- |         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 国際会長    | 「言葉より行動を」                     |
| アジア会長   | 「未来を始めよう、今すぐに」                |
| 東日本区理事  | 「誇りと喜びを持って」                   |
| 北海道部部长  | 「情熱と行動」                       |
| 札幌クラブ会長 | 「Think Globally, Act Locally」 |

THE SERVICE CLUB OF YMCA  
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S

# 札幌クラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

2015年6月

c/o YMCA  
MINAMI 11 NISHI 11  
CUO-KU SAPPORO  
〒064-0811  
011(561)5217

## 評 価 Evaluation

- 札幌クラブ役員
- |      |        |
|------|--------|
| 会 長  | 伏木 康   |
| 副会長  | 八田 信之  |
| 書 記  | 柳 沼 慈子 |
| 副書記  | 中田 千鶴  |
| 会 計  | 宮崎 善昭  |
| 直前会長 | 阿部 寛司  |

- |                         |
|-------------------------|
| Isaac Palathinkal (インド) |
| 岡野 泰和 (大阪土佐堀)           |
| 田中 博之 (東京)              |
| 宮沢 祐一郎 (北見)             |
| 伏木 康 (札幌)               |

### 今月の聖句

柔らかな応答は憤りを静め 傷つける言葉は怒りをあおる  
箴言 15章1節 柳沼 慈子選

## なにももない街「厚木」で、熱い理事の熱いワイスの大会！ 中田 靖泰



写真上： 檀上で田中理事から『YIE 推進賞』を受け取る伏木会長。

2015年6月6日、第18回東日本区大会が厚木市文化会館で開かれました。会員数が1,000名を切る危機的状況の中、予想をはるかに上回る400名を超える参加者が会場を埋め尽くす中、開会式が行われました。

小林常良厚木市長が出席しおごなりでない祝辞を述べました。オープニングセレモニーの「白龍太鼓」、「ロボット実演」、懇親会前には中学生のブラスバンドの演奏、等々、大都市の大会では到底味わうことの出来ない全市をあげての温かい歓迎を受けました。

特に晩餐会の前の中学生のブラスバンドは素晴らしかったです。終了後、全員のスタンディング・オベーション。「アンコール」の音が鳴り止みませんでした。

嬉しかったことは、現在、DBC締結が進行中の京都パレスから平野会長、森田美都子アジア地域大会実行委員長ら4名が出席され、親睦を深めることが出来たことです。京都での再会を約して分かれましました。



写真上： 京都パレスの精鋭の面々。前列左から、中田千鶴、藤井 PIP、平野会長。後列中央が森田アジア大会実行委員長。

バナーセレモニーでは今回限りで見納めと言うバナーが何本かありました。寂しい限りです。しかし、一方ではベイサイドクラブのような新しいクラブの目覚ましい活躍を見るのは心強い限りでした。

札幌クラブはユース部門で「YIA 推進賞」を受賞しました。「分科会」では伏木、中田夫妻の3名は揃って「ユース部門」に出席しました。30数名がハーバード白熱討論を展開しました。焦点は如何にしてリーダーを卒業後もY、Y'sに関わらせるかでした。

懇親会は予想を上回る参加でした。会場に収まりきれず、廊下にまでテーブルがはみ出していました。7月の京都のアジア地域大会、来年の長野の東日本区大会のアピールが続きました。古い友と旧交を温め、新しい友と語り合いました。石巻で新クラブを準備しているメンバーが紹介され会場は一番盛り上がりました。

何もない街でも熱意と工夫で区大会が出来るという田中熱血理事の思いは見事に実現しました。東日本区史上に残る素晴らしい大会だったと思います。

2015年5月合同例会	在籍会員 11名	例会出席 7名	メネット 0名	メーキアップ 0名
出席報告	ゲスト 3名	ビジター 11名	出席者合計 14名	出席率 64%

### 札幌ワイズメンズクラブ

### 2015年6月例会

日時 2015年6月15日(月) 18:30~20:30

会場 クラッセホテル札幌 2F会議室

札幌市中央区大通西7丁目

☎ 011-281-3800

会費 1,200円

#### プログラム

司会 秋葉 聡志

① 開会点鐘 札幌クラブ会長 伏木 康

② ワイズソング・ワイズの信条 全員

③ 聖句 柳沼 慈子

④ 会長挨拶 会長 伏木 康

⑤ 誕生日・結婚記念日 なし

⑥ 卓話

### 「石油はこれからどうなる」(仮題)

中和石油株式会社

取締役営業本部長

杉澤 謙次郎 様

#### ⑦ 諸報告

##### 東日本区大会報告

伏木 康、佐藤 雅一、中田 靖泰、中田 千鶴

⑧ YMCA報告 担当主事 佐藤 雅一

⑨ みんなで歌おう

### 「若者たち」



#### ⑩ 会長引き継式・会長ピン交換

伏木康会長 ⇒ 宮崎善昭次期会長

⑪ 閉会点鐘 会長 伏木 康

何故この聖句を

柳沼 慈子

柔らかな応答は 憤りを静め

傷つける言葉は怒りをあおる 箴言 15章 1節

この聖句を選んだ理由は、簡単な事なのになかなかうまく活用できないところです。特に大切である家族に対しては我を張ったり、心のない返事をしてみたりと反省し出すときりがありません。逆もあるのかもしれませんが、笑顔やさわやかな対応をこころがけたいものです。

### 札幌ワイズメンズクラブ 5月例会

日時: 2015年5月12日(水) 18:30~20:30

場所: 北海道YMCA 101教室

参加者: 佐藤雅一、柴田伸俊、中田靖泰、中田千鶴、  
伏木康、柳沼慈子、宮崎善昭

(ゲスト) 木田貴浩、下田慶子、高杉みずほ

出席者 計 10名

都合により例会日を変更したためクラッセホテルの部屋の都合がつかず、急遽 YMCA での例会となりました。卓話は3月10~11日、全道からユースボランティアが集まり行われた「全道ユースボランティア研修会」の報告を高杉みずほさんと下田慶子さんから伺った。パワーポイントを駆使して、青年が何を求めて YMCA に集まっているのか、から始まり最後には自分たちで「北海道ユースボランティア宣言」をまとめ上げるまでの経過を臨場感たっぷりに語ってくれました。(p.3参照) 研修会の内容だけでなく、KJ法などを駆使して合意を形成してゆく巧みさに感心させられました。

「今月の歌」では「茶摘み(夏も近づく八十八夜)」を歌い、併せて新茶のこと、五節句、二十四節気のことなど学びました。



チャリティーランで活躍するリーダーたち

### 札幌ワイズメンズクラブ 5月例会

日時: 2015年5月28日(金) 19:00~20:30

場所: 北海道YMCA 総主事室

参加者: 佐藤雅一、柴田伸俊、中田靖泰、中田千鶴、  
伏木康、宮崎善昭 計 6名

#### ① 6月例会:

◆日時: 6月15日(月) ◆クラッセホテル札幌

◆卓話: 中和石油 杉澤謙次郎氏に依頼(担当秋葉)

◆巻頭言: 中田靖泰

◆聖句: 柳沼慈子

#### ② 京都パレスクラブ訪問報告:

宮崎次期会長がパレスクラブ5月例会を訪問。大歓迎を受け、例会後も歓談した。7月の京都アジア地域大会でDBC締結の予定で進める。

#### ③ 札幌クラブ60周年について:

◆北海道部部会との関連、登録費、etc.

#### ④ 新年度活動について:

◆7月18~19日 チミケップ・ワーク

⑤ 「ワイズメン義村政見・・・一筋の路」を編集委員会の提案通り進める。(予算250,000円)

## ★★「北海道YMCAユースボランティア宣言」を作りました!★★ 北海道YMCA ユースボランティア 高杉 みずほ

2015年3月10日(火)～11日(水)、札幌国際ユースホステル・北海道留学生交流センターで「全道ボランティアリーダー研修会」が開かれました。札幌YMCAと北見YMCAのユースボランティアを中心にワイズメン、YMCAスタッフ合計30名が集まりました。

研修第1日目は、秋葉聡志北海道YMCA総主事の「YMCAがユースボランティアに託す思い」と題する基調講演をお聞きしました。リーダーにはYMCA理解が必要であること、YMCAのメッセージは「使命」「願い」「価値」にすべてが表現されていることを学びました。

今回の基調講演では、リーダー一人ひとりの自己理解として、自分の言葉でそれぞれを文章にし、表現してみました。そこからシンクロするYMCAとの繋がりを発見することで、YMCAのリーダーとしての活動がどんなものかをより明確にしていけることができました。また、北海道YMCAの源流である札幌バンドの青年たちについて受け継がれている歴史を学ぶことができました。今回の研修会では、**基調講演を基にボランティア活動の指針となる『北海道YMCAユースボランティア宣言』をリーダーたちの言葉で作成していききました。**

まずグループに分かれ、各グループでペーパータワーを作り(A4の紙だけで出来るだけ高い塔を作るのです)チームワークを養いました。

いよいよグループで、北海道YMCAユースボランティア宣言の作成にとりかかりました。まず、最初に北海道YMCAリーダーとして必要な4つのテーマをもとに考え、文章化していききました。**4つのテーマ**とは次の4つです。「北海道YMCAリーダーがは、①どんな存在か、②やらなきゃいけないこと、求められていること、やりたいこと、④できること、得意なこと。

4つのテーブルに分け、ホストを配置し4つのテーマについてみんなで意見や考えを出していききました。

### ①北海道YMCAリーダーはどんな存在か?

▼リーダーは活動の中で子ども達に教える側であり、教わる側でもある。▼自然を通した活動の中で子ども達と関わっていく。▼積極的に子ども達と関わっていく。▼ねらい・目標がある。▼人と人との架け橋。といった内容が出てきました。

グループ討議② ・親和図法(付箋出し)

4つのテーブルで意見を出し合った後、4つのテーマごとにグループに分かれ、要素を抽出し、その細かい内容を付箋に書き出し、まとめていききました。

2日目は前日抽出した4つのテーマの詳しい内容を付箋で書きだし、「北海道ユースボランティア宣言」に向けて文章としてまとめていく作業を行いました。

### まとめた要素は次の5つです。

① プログラムのための準備を大切にす。②YMCAの様々なプログラムに参画し、有意義な活動を実践する。③プログラムを通して成長の機会を大切にす。④リーダーとして学ぶ姿勢を持ち続ける。⑤YMCAに関わる人々と幅広い交流を持ちます。

次に、各グループで①～⑤までの要素の文章化を行い、全体でシェアし、細かくチェック・修正を繰り返し、「北海道YMCAユースボランティア宣言」を完成させました。(最後の「宣言」をご覧ください。)



写真左…札幌4月例会で発表する高杉みずほ(ほっほチャンネルリーダー)のポスターは誤りです。多謝。

### 北海道ユースボランティア宣言を作り終えて

・北海道ユースボランティア宣言を活動の中で活用していきます。リーダー会で宣言の復唱をし、宣言の内容を常に意識できるようにしていきます。新しいリーダーにも現役のリーダーが宣言について教えていき、リーダーみんなが活動の中で意識していきます。年ごとに北海道ユースボランティア宣言の内容を確認し、時代に沿って内容を改めていきます。年がたつごとにリーダーに求められることや風潮が変わっていくため、その時代に合った内容の宣言であるよう改めていき、代々受け継いでいけるようにします。

・この研修とグループワークを通して、◆リーダーに求められていること、◆YMCA理解や歴史を、再発見することが出来、より充実した活動が行っていくことに自信を持つことが出来ました。この研修だけで終わるのではなく今後のトレーニングなどを通してさらに理解を深めていきたいと思いました。

また、同じ目標を持って活動していくリーダーの仲間がいることに改めて感謝することができました。今回の研修で制定することができた「北海道YMCAユースボランティア宣言」を今後の活動に十分に生かしていき、メンバーの成長を感じながら、私たちリーダー自身も成長できるよう、今後も活動していきたいと思ひます。

### 北海道YMCAユースボランティア宣言

私たち北海道YMCAユースボランティアリーダーは、YMCA運動の中核を担い、雄大な自然のもとで、様々なプログラムを実践します。それらを通じ、キャラクター・ディベロップメントの4つの価値を育み、平和な世界の実現を目指します。

そのために、私たちは、

①プログラムのための準備を大切にします

・充実した活動のため、ミーティング・研修に参加します。

・見通しを立て、計画的に行動します。

・評価・記録を残し、情報を共有します。

②YMCAの様々なプログラムに参画し、有意義な活動を実践します

・活動に関わるものすべてに思いやりの気持ちをもって接します。

・コミュニケーションをとり、メンバー一人ひとりを大切にします。

・自分の判断に責任をもち、安全を心がけます。

★★★★ 2015年2月 ★★★★★

Y M C A ニ ュ ー ス

★★★★ 担当主事 佐藤雅一

**①アジアユースコンボケーション**

7月29日～8月2日まで京都で行われるアジア・ユースコンボケーションに札幌YMCA英語・コミュニケーション専門学校1年生の船越谷 充昭君が参加します。アジアユースコンボケーションでは、「Learning to have peace」(平和のために学ぶ)をテーマに参加者がこれから2年間にわたって取り組むアクションプランを作っていきます。

YMCAと深い関わりのあるロニー・アレキサンダーさん、スティーブ・リーパーさんが講師を務め、グループディスカッションを重ねながら熱い想いを具体的な計画へと作り上げていきます。

8月1日には、アジア大会に合流し、アクションプランの発表、参加者全員によるダンスが披露されます。

**②高校生のための国際理解ワークショップ**

専門学校では、高校生を対象に国際理解を深めてもらうためのワークショップ「世界について考えよう」を毎月行っていくことになりました。

5月は、「世界一大きな授業」を教材に、学校へ行くことの出来ない子供たちの現状と私たちに何が出来るかについて学びました。

6月は「美味しい!やさしい!フェアトレード」をテーマにチョコレートとコットンを題材にフェアトレードについて学びます。お知り合いの高校生に是非ご紹介下さい。

**③水泳フェスティバル&夏まつり**

7月5日(日)午前中はYMCAプールで水泳フェスティバルが行われます。水泳フェスティバルではプールでの楽しいゲームの他、リーダーとスタッフによる水の安全に関するスタンプ(寸劇)、着衣泳体験が行われます。



水泳フェスティバルが終わる12時から、恒例の夏まつりが2時30分まで行われます。

夏まつりはチャリティイベントとして

行われ、益金は①ベトナムに建設する新しい教室に通う子供たちに文房具を贈る資金、②東日本大震災や原発事故で被災し、札幌で避難生活を送っている子供たちをYMCAの夏期プログラムに招待するスカラシッププログラム資金となります。屋台、縁日、イベントなど美味しい食べ物や楽しい事がいっぱいです。

**④行啓通ふれあい広場**

6月15日(月) 行啓通商店街で行われる「ふれあい広場」にYMCAが今年も参加します。ベトナムハンディキャップセンターで作っているビーズキーホルダーやベトナムグッズの販売を行います。

**⑤フェアトレードフェスタ**

6月21日(日)大通公園6丁目で行われるフェアトレードフェスタ in さっぽろ2015に北海道YMCAが出展します。ベトナムハンディキャップセンターで作っているビーズキーホルダーはフェアトレード商品として認知されています。

また、YMCAテントを貸し出すことになっており、会場内にYMCAのマークが広がる予定です。ぜひお越し下さい。

2015-16年度 北海道部会・評議会  
札幌ワイズメンズクラブ創立60周年記念会

日時：2015年8月29日(土)

登録受付 13:00～

評議会 13:30～15:00

部会 15:15～17:30

懇親会・札幌クラブ60周年記念会

18:00～19:30

場所：ホテルオークラ札幌 2F

記念講演「ワイズに未来はある?ない?」

元国際会長 藤井 寛敏ワイズ

(時間は変更する場合があります)

**どうでもいい話「蝦夷4不思議」**

5月号に「蝦夷3不思議」をご紹介しました。元サッチョンのワイズから「もう一つ加えろ」と要請がありましたので追加致します。蝦夷3不思議とは「花見にジシカカン」「会費制結婚式」「赤飯に甘納豆」です。

彼が「ぜひ追加しろ」と提唱するのは「節分にピーナツ」です。北海道では節分に炒った大豆ではなくピーナツをまくのを見て彼は吃驚したそうです。でも彼はすぐにピーナツ党になったそうです。その理由は、サッチョンの汚い部屋では拾って食べるのには炒った大豆より殻をむいて食べるピーナツの方が衛生的だからだそうです。しかし、年齢の数だけ食べなければならぬとなると60歳を超えたワイズには本州の大豆の方が小さいので、早く東京本店に栄転した方が健康的です。

**サッチョンって?**

サッチョンとは札幌とチョンガーの合成語です。チョンガー(総角)は朝鮮語で「独身者」の意味です。札幌には家族を東京に残して札幌に転勤してチョンガー生活を謳歌している支店長族が大勢います。彼らを羨望と憐憫をこめてチョンガーと称します。(札幌クラブのブリテンを読んでいると勉強になります。)

**ワイズの信条**

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、  
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、  
社会には奉仕第一を旨としよう。